

2 前年以前に申告された方

令和8年度

償却資産申告書(償却資産課税台帳)

帳票識別コード	
申告区分	<input type="checkbox"/> 当初申告 <input checked="" type="checkbox"/> 修正申告
処理方式	<input type="checkbox"/> 一般処理 <input checked="" type="checkbox"/> 電算処理
申告書等送付番号	

受付印

令和 年 月 日

殿

所 有 者 者	1 2 3 4	フリガナ 住所 [納稅通知書送付先] 新富町大字上富田7491番地 電話番号 0983-33-1234	5 6 7 8 9	個人番号又は 法人番号 事業種目 資本金又は出資金の額 事業開始年月 この申告に応答する 者の係及び氏名 電話番号 税理士等の氏名 電話番号	1234567890123 農業 -300,000- 200,000 昭和62年 10月 経理係 新富 花子 0123-33-1234 税理士 宮崎 太郎 0123-33-5678	10 11 12 13 14 15 16	短縮耐用年数の承認 □有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 增加償却の届出 □有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 非課税該当資産 □有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 課税標準の特例 □有 <input type="checkbox"/> 無 特別償却又は圧縮記帳 □有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 税務会計上の償却方法 <input checked="" type="checkbox"/> 定率法 <input type="checkbox"/> 定額法 青色申告 □有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		法人の場合：本店所在地 個人の場合：住所又は居所 ※納稅通知書等の送付先が所有者の住所と異なる場合 は、その住所を記入してください。					
		年 月 日					

P13

資産の種類	取 得 価 額									
	前年に取得したもの (イ)			前年中に減少したもの (ロ)			前年に取得したもの (ハ)			計((イ)-(ロ)+(ハ)) (セ)
1 構築物	十億 5620	百万 0000	千 円	十億 0000	百万 0000	千 円	十億 0000	百万 0000	千 円	十億 5620000
2 機械及び 装置	12000	0000					2099	0000		14099000
3 船舶										
4 航空機										
5 車両及び 運搬具										
6 工具、器具 及び備品	300	0000			200	0000	300	0000		400000
7 合計	17920	0000			200	0000	2399	0000		20119000

資産の種類	※評価額			※決定価格			※課税標準額			数量
	(ホ)	(メ)	(カ)	(ホ)	(メ)	(カ)	(ト)	(メ)	(カ)	
1 構築物	十億 0000	百万 0000	千 円	十億 0000	百万 0000	千 円	十億 0000	百万 0000	千 円	
2 機械及び 装置										
3 船舶										
4 航空機										
5 車両及び 運搬具										
6 工具、器具 及び備品										
7 合計										

記入例を参考に各項目の内容を記入してください。印字された
項目に変更がある場合は赤線で抹消し、正しい内容を記入して
ください。

※印欄は企業の電算処理による申告をする方のみ記入してください。

17	市(区)町村内における事業所等資産の所在地	① 新富町大字上富田1234番地 □自己所有家屋 <input checked="" type="checkbox"/> 借家
		② 町内の全ての事業所又は資産所在地を記入してください。 □自己所有家屋 □借家
18	借用資産	□有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	貸主の名称等	新富町大字上富田4567番地 シンツミリース株式会社 123-456-7891
19	□資産に増減なし	該当するものに✓印を付けてください。
20	□該当資産なし	
21	□転出・廃業・解散・その他() (令和 年 月 日)	
22	備考(添付書類等)	該当するものに○印を付けてください。

【異動区分】			令和8年度 種類別明細書(全資産用・プレ申告用)												帳票識別コード								
以下の数字を記入してください。															申告区分	□当初申告・□修正申告							
1. 増加 2. 減少 3. 訂正															処理方式	□一般処理・□電算処理							
															申告書等送付番号								
行番号	異動区分 (注1)	資産の種類 (注2)	物件番号	資産の名称等			数 量	取得年月 (注3)			元日取得 (注4)	(イ) 取得価額 (注5)			耐用年数	(ロ) 減価残存率	(ハ) 課税標準額 率 コード	※課税標準額			増減事由 (注6)	摘要	
								年号	年	月		十億	百万	千円				十億	百万	千円			十億
01	1	1		駐車場舗装工事			1	5	3	8		5,620,000		10							1		
02	1	2		太陽光発電			1	4	30	5		12,000,000		17							1		
03	1	2		ベルトコンベア			1	5	7	5		2,099,000		5							2		
04	2	6		冷蔵庫			1	3	53	7		200,000		6							2		
05	1	6		パソコン			1	5	1	8		100,000		5							1		
06	1	6		パソコン			1	5	7	9		300,000		5							1		
07																							
08				【資産の種類】 以下の数字を記入してください。 1. 構築物 2. 機械及び装置 3. 船舶 4. 航空機 5. 車両及び運搬具 6. 工具・器具及び備品				【年号】 以下の数字を記入してください。 1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 平成 5. 令和	【取得価格】 圧縮記帳を行っている場合は、 圧縮前の取得価格を記入してください。			【摘要】 ・申告漏れ資産については必ず「申告漏れ資産」と記入してください。 ・課税標準の特例の適用を受ける資産については「特例資産」と記入してください。											
09																							
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15				【留意事項】 ・令和8年1月1日現在に本町で所有している申告の必要な全ての償却資産を記入してください。 ・すでに申告している資産内容に変更がある場合は印字されている該当箇所を赤線で抹消し、変更後の内容を記入してください。 ・令和7年1月2日から令和8年1月1日までに増加した資産を追加し、減少した資産を赤線で削除してください。 ※記入の仕方が分からぬ場合は、職員と一緒に記入しますので、申告書をそのまま役場にお持ちください。																			
16																							
17																							
18																							
19																							
20																							
												小計											

注意1 「異動区分」の欄は、1 増加、2 減少、3 訂正 のいずれかの数字をご記載ください。

注意2 「資産の種類」の欄は、1 構築物 2 機械及び装置 3 船舶 4 航空機 5 車両及び運搬具 6 工具・器具及び備品 のいずれかの数字をご記載ください。

注意3 「取得年月」の欄は、3 昭和 4 平成 5 令和 のいずれかの数字をご記載ください。

注意4 「元日取得」の欄は、元日(1月1日)に取得した場合には1をご記載ください。

注意5 「処理方式」が「一般処理」の場合、「異動区分」が2 減少の資産について、「(イ) 取得価額」は減少後の「取得価額」((例)全部減少の場合は「0」が入ります)をご記載ください。

注意6 「増減事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 売却、4 故障、5 移動、6 その他 のいずれかの数字をご記載ください。